

# 地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (3 — 11)

団体名	(特非)あかりの街ひめじ	代表者名	(職名) 理事	(氏名) 山口 政勝
事業名	あかり産業による地域活性化事業			

## <事業実施実績>

年月日 定例は「月1回」 「毎〇曜日」等 で記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) ※講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
6月3日	兵庫県立大学 工学研究科会 議室	伊藤省吾教授 山口、松岡	事業の協力依頼および実施内容について協議
月1回	コムサロン2 1会議室	— 山口他3名	定例会議 (事業内容、広報活動、収支、招待者等の検討)
9月11日	兵庫県立大学 工学研究科会 議室	伊藤省吾教授 山口	減額による事業内容変更の報告および今後の支援等について
9月	法人事務所		メールにて関係者の出席確認
10月1日	兵庫県立大学 地域連携機構	山口	県立大水素共同研究の後援依頼について
10月16日~21 日	コムサロン2 1	講師各位 山口	講師の各氏とリモートによる協議 (16日黄氏 18日上村氏、平井氏 21日田中氏)
11月8日	じばさんビル	35名程度 4名	セミナー実施
11月27日	コムサロン2 1会議室	— 山口他3名	事業の検証

## <効果と成果>

水素社会の実現は、今の化石燃料中心社会の仕組みを大きく変える可能性があるとの思いから、事業化に取り組んだが私の知らない種々の課題があることが示された。

その意義は大きい、と考えている。

一方、こうした課題の解決のために、講師をはじめとする関係者の努力や熱意に触れて、水素社会の実現可能性の光明を見た思いがする。

さらに、このセミナーを通じていろんな交流や情報交換、事業提携、ネットワークが生まれ始めていることは地域の活性化に寄与することと考えている。

このセミナーの様子は、後日神戸新聞に掲載された。このことは、水素社会の実現が、広く市民(県民)の関心ごとであるという証左であり、記事にする価値があるとみなされたものと考えている。

## <今後の展望>

いま、「あかり」の多くは、電気エネルギーによって輝いている。そのエネルギーが、CO2を排出しないものとなるように私たちも努力する必要がある、そのヒントとして今回の小型水素発電システムの活用があったと感じた。

ただ、当該システムは、今のところ出力が1kw程度なので、イベントなどの電源としてはやや能力不足であり、何といても価格面でかなり活用が制限されるが、量産化や技術開発でこうした課題は、必ずブレークスルーされると考えられるので、注視していきたい。

今回の講師の方々と協力して、私たちも水素社会の実現に向けて共に歩みたいと考えている。

## <収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NP0事業助成金	250,000
自己資金等	22,625
合 計	272,625

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	アルバイト賃金	12,000	12,000
	講師謝金	80,000	80,000
	旅費交通費	1,370	1,370
	その他(広報宣伝費等)	148,660	127,500
	小 計	242,030	220,870
	間接経費(一般管理費)	30,595	29,130
	合 計	272,625	250,000